

科目名	音楽Ⅱ C					単位	2.0
担当教員	夏目 佳子						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	

●授業のテーマ

保育現場に必要なピアノ演奏技術の向上と子どもの歌の弾き歌いを習得する。

●到達目標

バイエルを終了していない者は、バイエル100番程度まで終了することを目指し、並行して子どもの歌の弾き歌いを習得する。バイエルを終了している者は、より高い演奏技術を身につけ、レパートリーを増やし、並行して子どもの歌の弾き歌いを習得する。

●学習内容(授業概要)

音楽Ⅰからの継続である。バイエルを終了していない者は、引き続き『バイエル』100番程度まで終了することを目指す。バイエル終了者は、引き続き『ブルグミュラー25の練習曲』や『ソナチネ』等を演奏し、更にピアノ演奏技術を高める。保育現場に必要な子どもの歌の弾き歌いを並行して習得する。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション（音楽Ⅱの授業の進め方についての説明）
2. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、音階①）  
『バイエル』終了者（個人に合ったピアノの課題曲を演奏する、弾き歌いの課題曲を決め、演奏する）
3. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、調号①）  
『バイエル』終了者（個人に合ったピアノの課題曲と弾き歌いの課題曲を演奏する）
4. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、強弱をつけて弾く①、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（前回の曲をより音楽的に演奏する、弾き歌いの課題曲を演奏する）
5. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、調号②、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（前回の曲を仕上げる、弾き歌いの課題曲を演奏する）
6. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲で装飾音符のある曲を弾く、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（個人に合ったピアノの課題曲と弾き歌いの課題曲を演奏する）
7. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、音階②、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（前回の曲をより音楽的に演奏する、弾き歌いの課題曲を演奏する）
8. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、強弱をつけて弾く②、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（前回の曲を仕上げる、弾き歌いの課題曲を演奏する）
9. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、16分音符を弾く、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（個人に合ったピアノの課題曲と弾き歌いの課題曲を演奏する）
10. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲、短調の曲を弾く、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（前回の曲をより音楽的に演奏する、弾き歌いの課題曲を演奏する）
11. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲で、さまざまなリズムの含まれた曲を弾く、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（前回の曲を仕上げる、弾き歌いの課題曲を演奏する）
12. レッスン：『バイエル』継続者（『バイエル』の課題曲で、さまざまな音楽的要素の含まれた曲を弾く、弾き歌いの課題曲）  
『バイエル』終了者（個人に合ったピアノの課題曲と弾き歌いの課題曲を演奏する）
13. レッスン：『バイエル』継続者（発表会の課題曲を決め、演奏する）  
『バイエル』終了者（発表会の課題曲を決め、演奏する）

14. 発表会で弾く曲を仕上げる
15. 授業発表会

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：授業までにピアノ課題曲、弾き歌いの曲をよく練習しておくこと。

事後学習：授業で指摘された部分を何度も練習し、理解する。

●成績評価方法・基準

授業発表会（40%）、授業およびピアノ学習への取り組み（60%）

●テキスト（必携）

個人の進度に合わせて指示する。

《No.1.》書籍名：バイエルピアノ教則本、出版社：全音楽譜出版社、販売先：(株)Do

《No.2.》書籍名：ブルグミュラー25の練習曲、出版社：全音楽譜出版社、販売先：(株)Do

《No.3.》書籍名：ソナチネ アルバム、出版社：全音楽譜出版社、販売先：(株)Do

《No.4.》書籍名：こどものうた 200、出版社：チャイルド本社、販売先：(株)Do

《No.5.》書籍名：続こどものうた 200、出版社：チャイルド本社、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

特になし

●履修上の注意

ピアノの演奏技術を向上させるためには、日々の練習が大切である。子どもの歌は、子どもと一緒に歌っていることを意識しながら弾き歌いすること。